

ウバユリ（ユリ科）の訪花昆虫について

富 樫 一 次 石川県ふれあい昆虫館

FLOWER VISITING INSECTS OF *CARDIOCRINUM CORDATUM* (THUNB.) MAKINO (MONOCOTYLEDONEAE : LILIACEAE) ON MT.HAKUSAN, ISHIKAWA PREFECTURE, HONSHU, JAPAN

Ichiji TOGASHI, *Ishikawa Insect Museum*

はじめに

ウバユリ *Cardiocrinum cordatum* (Thunb.) Makino は白山の標高1,300 ~ 1,500mの範囲に生育しているユリ科の植物で、その総状花序に飛来する昆虫類をあまり目撃しないので、調査を行ったので、ここにその結果について報告する。

本文に入るに先だち、種の同定をして頂いた久松定成博士（松山市）、幾留秀一教授（鹿児島女子短期大学）、木元新作博士（小郡市）、大原賢二技師（徳島県立博物館）並びに渡辺泰明博士（町田市）の各位に対し、深く感謝の意を表する。

調査地と方法

調査は白山登山道の1つ、砂防新道沿いの標高1,300 ~ 1,500mの間に生育しているウバユリの総状花序について行った。

調査に際しては、花序を傷つけないように注意して行ったが、時には花をネット内に入れて強振し、花の内部にひそむ昆虫の採集も試みた。

結果と考察

今回の調査により採集された昆虫類はTable 1に示すような5目に属する12種であった。

Table 1 List of flower visiting insects of *C. cordatum*

Species name		Number of individual
Dermaptera ハサミムシ目		
<i>Forficula mikado</i> Burr	キバネハサミムシ	2
Hemiptera カメムシ目		
<i>Onemaus lautus</i> (Uhler)	アカアシカスミカメムシ	5
Coleoptera コウチュウ目		
<i>Tachyporus suavis</i> Sharp	ツヤグロシリホソハネカクシ	1
<i>Epuraea bergeri</i> Sjoberg	カクアシヒラタケシキスイ	2
<i>E. longula</i> Erichson	ハネナガヒラタケシキスイ	3
<i>Meliethes denticulatus</i> (Heer)	キムネチビケシキスイ	1
<i>Eosoma akkoae</i> (Chujo)	ハマダラヒメハムシ	2
Hymenoptera ハチ目		
<i>Andrena kamikochiana</i> Hirashima	タカネヒメハナバチ	1
<i>Lasioglossum harmandi</i> (Vachal)	アルマンディコハナバチ	1
<i>Bombus diversus diversus</i> Smith	トラマルハナバチ	6
Diptera ハエ目		
<i>Dasysyrphus bilineatus</i> (Matsumura)	フタスジヒラタアブ	1
<i>Xylota amamiensis</i> Shiraki	ニセルリイロナガハナアブ	1

このうち、キバネハサミムシは花の内部にひそみ、花被の縁部分を摂食していたが、アカアシカスミカメムシに加えてコウチュウ目に属するハネカクシやケシクスイ類はすべて花の内部にひそんでいた。しかし、コウチュウ目に属するハマダラヒメハムシは花の外部にいて花被の一部を略々円形に摂食していた(写真1)。

ハチ目やハエ目に属する昆虫類は、調査期間中は総状花序の周辺部で採集されたが、これらの昆虫類は一度も花の内部に侵入する状況は観察できなかった。

筆者はこれまでに白山のブナ帯に生育している数種の植物の訪花昆虫類の調査を行っているが、その場合ハチ目やハエ目に属する昆虫類は花上に停止し、吸蜜や採花粉を行っていた。しかし、花の内部にもぐり込み吸蜜などの活動をする昆虫類も観察しているが、ウバユリの花のように昆虫類の潜入しない花は見えていない。何故ハチ目のみでなくハエ目の昆虫も潜入しないのか、その理由は明らかになってはいない。

まとめ

- 1 ウバユリの訪花昆虫を調査し、5目に属する12種を記録した。
- 2 これらの昆虫類のうちハサミムシ目、カメムシ目およびコウチュウ目に属する昆虫類は花の内部に入り込んでいたが、ハチ目やハエ目の昆虫類は花の周辺を飛び、花の内部へは入らなかった。

*環中部第040528001号により調査を行ったものである。



写真1 ハマダラヒメハムシの食害痕(矢印で示す)